

異常な行動

識別番号	年齢・年齢 数値・単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	発症中か否か (就寝中○、就寝 中じゃない×)	意識 レベル	就寝中の場合、 就寝時刻から発 現までの時間	回復 までの 時間	発熱 の有無	嘔吐 の有無	腹痛 の有無	頭痛 の有無	めまい の有無	眩暈 の有無	異常な 行動の 持続	異常な 行動の 頻度	異常な 行動の 内容	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見たか?と書いているのか?)	旧資料No					
143	B06024534	12 年	男性	①異常行動 ②転倒	2007/2/22 2007/2/23	朝-夕 朝	2007/2/23	18:00	-	-	-	-	3時間	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	No	無	2007/2/21 (夜)38.5℃の発熱。 2007/2/22 (午前)インフルエンザA型と診断。A院にてタミフルなど処方。(朝、夕)タミフル75mgずつ内服。(夜)〜23日朝にかけて、突然裸になり「おんい」と書いて踊るなどの行動有り。 2007/2/23 (8:00)タミフル75mg内服。(18:00)母親が目を見開いた間に、2Fベランダから飛び降り、直後から走り回る。当院へ入院。発熱不明、記憶無。タミフルの副作用の可能性も考えられたが、急性脳症否定できず。ステロイドパルス療法施行。ICU入院。処置内容:ソル・メドロール1g/日(〜2/25)、マンニトール注20x250mLx3/日、ミラクリッド注5万単位x3/日、ロセフィン1gx2/日(〜2/26)、ワビビタール点滴200mg/日、カロナール300mg/日翌朝当院へ連絡があった。顔部MRI、CT、経頭蓋超音波検査、胸部・腹部・骨盤X線:異常なし前頭部の3Hz wave with notchesが3〜5秒持続するのが頻発。 2007/2/24 処置内容:フェニバル80mgx2/日(〜2/26)。その後も異常行動が認められたが徐々に消失。 2007/3/2 明らかな後遺症なく退院となる。インフルエンザ回復。	異-1-98	
144	B06024909	12 年	男性	異常行動	2007/2/7	12:30, 18:00	2007/2/8	2:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/2/7 インフルエンザ発症(発熱37.8℃(朝)、咳、倦怠感)。(12:30)インフルエンザに対し本剤1カプセル服用。(18:00)タミフル1カプセル、マパール、ムコスタ(マパール)服用。 2007/2/8 (2:00)異常行動発現。外に出て車で50m程先の駐車場に向かって走り出す。父親が家に入れたが、そのまま隣に走っていき、追っていき怒を閉めて飛び降りていた。真に行くと、土の上で寝ており、心音ははっきりせず、夜ほけのような様子だった。自家車庫にて救急外来受診し、当院へ搬送依頼あり(3:50)当院救急外来到着。意識レベルJCS1-2。ICU入院。外傷は左膝蓋骨骨折のみで脳内出血などなし。経頭蓋超音波検査:蛋白定量42mg/dL、糖定量86mg/dL。単核球2/3mm ³ 、分葉核球0/3mm ³ 。(10:00)インフルエンザ発症の可能性も考慮し、ステロイドパルス療法(ソル・メドロール1000mg/日)開始(〜2/10)。(20:30)独語、突然笑い出す。泣き出すなどの症状認められた。 2007/2/9 (8:30)意識レベルJCS0-1 2007/2/10 (9:30)意識清明と確認。 2007/2/11 インフルエンザ軽快。アスピリン20mgx3回/日(〜2/14)、ムコダイン500mgx3回/日(〜2/14)投与開始。 2007/2/16 退院。外来フォローとなる。 2007/3/8 異常行動回復。(15:26)腰のけがのため松葉杖。行動、運動面で特に以前と変化なし。	異-1-98	
145	B06025101	12 年	男性	異常行動	2007/2/8	12:00頃	2007/2/8	14:11頃	×	No	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	①幻覚を見て、裸足で外に飛び出した。その後自宅に戻り「隣がこわれそう」落ち着きなくなり、家中のドアを開けた。自分で電話。最初は117番をかけてしまった。次に110番をかけて警察から連絡がまわり救急車で他院に搬送。点滴により落ち着いて帰宅。 ②夜になると怯えてしまう(目が覚めて眠れない等)就寝後1時間くらいで起き出して、躁動状態になる。	異-1-105	
146	B06025576	12 年	女性	異常行動	2007/3/4 3/5〜3/6	12:00 朝〜	2007/3/4	22:00	-	-	-	-	30分	Yes	解熱過程	Yes	No	No	No	No	No	No	無	2007/3/3 (17:05)38.5℃発熱あり、当院外来受診。翌日再診とした。カロナール200 2T 1x服用。 2007/3/4 (11:30)再診。エスブラインRインフルエンザA&B-NにてインフルエンザBと診断。本剤2cap 2x/3T処方。(12:00)タミフル75mg服用。(22:00)突然泣き始め、裸足で土間の方へ飛び出し「目がとれた」と叫ぶ。異常行動発現。約10分程で落ち着き、両親がおさえる。体温:37.5℃。 2007/3/5 (朝)本剤服用再開(〜3/6)。その後異常な行動なし。 2007/3/6 (16:30)当科外来に報告。再診。明らかな異常なし。(11:00)異常行動回復。	異-1-120
147	B06026630	12 年	男性	①転倒 ②異常行動	2007/3/19 2007/3/19	12:00 18:30	2007/3/20 2007/3/20	0:30 21:40	○	Yes	-	-	1時間	1回目30分 2回目10分	-	発熱持続	No	Yes	-	No	No	No	無	急に起き上がり、部屋を歩き回った後、突然2階に駆け上がった。母が追いかけて押さえて一度は1階に連れ戻したが、その後、もう一度2階に駆け上がり、ベランダへ出、飛び降りた。家中に連れ戻したが、まだ興奮状態で暴れていた。飛び降りたことは覚えていない。翌日21:40、寝ていたところ、急に立ち上がり、「いかなあかん」とベットから降り、どこかへ行こうとした。看護士と母親で押さえて、医師到着時は本人裸足で寝ており、これらは覚えていないと言った。	異-2-8
148	B07001302	12 年	女性	①虚寒 ②浮動性めまい ③異常行動	2007/2/23	18:00	2007/2/23	22:30	-	-	-	-	約10分	Yes	発熱持続	No	-	-	-	-	-	No	無	2007/2/22 (夜)37℃台の発熱あり。 2007/2/23 (朝)38℃。(夜)39.7℃の熱あり。解熱剤(詳細不明)を内服したが、解熱せず当院受診。咳嗽あり。インフルエンザA型と診断。(19:00)タミフル投与(75mg)。(20:00)就寝。(22:30)寝ていて急に起きたが、焦点が合わずウロウロしていて気がついて2階の階段から転落。この時、全身硬直、振戦する上肢いれん発作(非重篤)が認められた。発作が10分ほど持続。10分後に他院受診。(23:00)30分後に意識回復し、頭部CTを行ったが、異常はみられず帰宅した。けいれん発作回復。ふらつき(非重篤)発現。ふらつき、言動がおかしくなる症状は回復。 2007/2/24(朝)当院再受診し、本剤中止。発熱は続いてしたが、意識は正常であった。以後は受診なし。 服用2回目で突然立ち上がり、廊下に飛び出す。わけのわからない事を叫び、暴れる(約3分間)。家族が押さえてついでに停止した。	異-2-59
149	B07001381	12 年	女性	異常行動	2007/3/17	不明	2007/3/17	服用2回目	-	-	-	-	3分	-	-	-	-	-	-	-	-	-	不明	服用2回目で突然立ち上がり、廊下に飛び出す。わけのわからない事を叫び、暴れる(約3分間)。家族が押さえてついでに停止した。	異-3-4
150	B07001523	12 年	男性	意識喪失状態	2006/2/2	18:30	2007/2/2	17:30	-	-	-	-	17時間	No	発熱持続	No	No	-	-	-	-	No	無	2月2日(17:30)両手を鼻上げし、訳のわからない事を言いながら、こたつの周囲を10回ほど回った。その後、紙製のふたを握り締めていた。このため救急車で来院。怒りっぽく荒々しい言動であった。	異-3-5
151	B07002684	12 年	男性	①うつ病 ②躁動状態 ③強迫性障害	2007/2/20 2007/2/20	昼前 18:00	2007/2/20	19:00	○	Yes	-	-	1時間	Yes	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	No	無	2月20日(18:00)本剤内服後、1時間経過。(19:00)起きたときに顔面状態になり、母が押さえてついでに。症状約30分続き回復。 2月21日(朝)37.3℃。起床後すぐに「手洗い」を始める。その後もずっと手を洗い続け、1日に30回以上「手洗い」をするようになる。 2月24日1日に60回以上「手洗い」、回りのものに触れようとなくなる。 2月27日登校する学校でも「手洗い」が続く。 3月上旬メンタルクリニックにて洗淨強迫障害と診断される。 3月13日ロープで首吊り自殺しようとする。その後も自殺願望強くなり、自宅で母が見守らなければならない状態となる。 4月16日(夜)突然顔面より上半分に筋肉の強張出現。	異-3-13

異常な行動

識別番号	年齢 性別	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、就寝 中以外:×)	異常な行動 発現時刻	就寝中の場合、 就寝時刻から発 現までの時間	異常な行動 発現時刻	異常な行動 発現時刻	異常な行動 発現時刻	異常な行動 発現時刻	異常な行動 発現時刻	異常な行動 発現時刻	異常な行動 発現時刻	異常な行動 発現時刻	異常な行動 発現時刻	異常な行動 発現時刻	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていたように感じたか?)	旧資料No
152	B07011832	12 年 男性	異常行動	2007/3/5 2007/3/5 2007/3/6 2007/3/6	2007/3/6 1:00~2:00	○	Yes	-	-	Yes	発熱持続	No	-	-	-	-	-	2007/3/4 (夜)発熱にて救急受診。インフルエンザ確定診断にて陰性で、抗生 剤(バンナ200mg/日)と下痢薬を処方。 2007/3/5 (AM9~10時頃)当院受診。受診時38.3℃で救急にて処方されていた 薬は終了。インフルエンザ確定診断実施したところ、FluB診断。タミフル75mg×2 回/日(5日分)、カロナール200mg(2回分)を処方。 2007/3/6 (AM1~2時頃)寝ていたが突然起きて夜室から飛び出し、廊下を走っ た。標定で飛ぶように走った。予め今までの副作用の事例を話し一緒に夜間は 過ごし、目を離さないように母親に指示していたため、大車には至らなかった。 マンションの9階で玄関の外に出なくて幸いであった。 2007/03/07 (朝)本人は自分の行動を全く覚えていなかった。インフルエンザ軽快。本剤の内 服中止。		
153	B07013228	12 年 男性	異常行動	2006/2/17 2006/2/18	2006/2/17	×	Yes	-	-	Yes	-	-	-	-	-	-	-	2006/2/17 (夕)前日よりの発熱(39.1℃)でインフルエンザA型の診断受け、 本剤(75)2回×5日分、麻黄湯7.5g×3日分の処方出される。帰宅後、本剤を服 用し、就寝。(22:30)気持ち悪くトイレへ行った。トイレから出てきてうわ言で 「重上が、重上が...」と言って玄関から出ようとしていたのが両親2人がかりで おさえた。 2006/02/18 (8:50)患者家族より処方店に連絡。上記の件を伝え、本剤中止との 指示が出た。体温は37.2℃。(9:00)患者家族より薬局にもあり、経過の情報を 受けた。念のため、本日は患者を見守るよう指導。 2007/2/17 インフルエンザB型発症。(10:00)本剤75mg内服。(20:45)本剤75mg 内服。鼻症状軽減のため、タバコール1mg×2回/日投与開始(→2/4)。 2007/2/2 (2:30)異常行動発現(非重篤)。急に起き上がりて服を脱ぎ、部屋 の中を歩き、お茶を飲んだ。母と会話したが、母のことを認識してない様子だが、 祖母とは会話できた。ベランダに出て乗り越えようとしたのを母と祖母で止めて 室内へ連れ戻した。体温:37.9℃。(3:10)40分くらい再び眠りについた。(5:00) 異常行動発現(非重篤)。寝ている状態でベッドでバタバタして話をしていた。目 はグルグル回ってまわった。40分くらい寝いた。(5:40)40分くらい寝いて症状回 復。		
154	B07013228	12 年 男性	異常行動	2007/2/1 2007/2/1	2007/2/2 2:30 5:00	○	-	40分	Yes	-	No	No	No	No	No	No	No	2007/2/17 (夕)8時頃インフルエンザ治療のため、本剤75mg×1日分の投与開始。 幻覚、幻聴が出現(重篤度不明)、異常行動(非重篤)発現。何も持っていないの に1つ持っていると言う。外に出ようとする。一晩中、父親が側について、外 に出ようとするのを制止していた。 2007/2/18 (4:00)落ちつく。 2007/2/22 (5:00)体温:38.2℃。(16:00)インフルエンザA型発症のため、本剤75mg ×1回内服。内服後、不穏行動発現(非重篤)。突然2階階段をはりおりる。 (19:00)(夕)本剤75mg×1回内服。内服後、やはり不穏状態となり、Familyが押さ えつけてFollowする。		
155	B07013305	12 年 男性	異常行動	2007/3/16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/3/16 インフルエンザに対して、本剤の投与を開始。異常行動(走り回る、 顔つきがおかしいVeto)が発現。 不明 異常行動は回復。		
156	B07013374	12 年 女性	異常行動	2007/2/17	夕方	○	-	-	-	Yes	-	No	-	-	-	-	-	2007/2/17 (夕)8時頃インフルエンザ治療のため、本剤75mg×1日分の投与開始。 幻覚、幻聴が出現(重篤度不明)、異常行動(非重篤)発現。何も持っていないの に1つ持っていると言う。外に出ようとする。一晩中、父親が側について、外 に出ようとするのを制止していた。 2007/2/18 (4:00)落ちつく。 2007/2/22 (5:00)体温:38.2℃。(16:00)インフルエンザA型発症のため、本剤75mg ×1回内服。内服後、不穏行動発現(非重篤)。突然2階階段をはりおりる。 (19:00)(夕)本剤75mg×1回内服。内服後、やはり不穏状態となり、Familyが押さ えつけてFollowする。		
157	B07013380	12 年 男性	異常行動	2007/2/27 2007/2/27	2007/2/27	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	No	朝本剤服用して寝かせるが、3時間半後に起きてきて、顔に怒られているという 幻覚のため「ごめんなさい」と何度もくり返した。夕方にも本剤服用するが、1時 間半後に起きてきて、部屋の中をぐるぐる歩き回ったり、うなったりという異常行 動を起こした。時間は特定できないが、ドライバーを持って家を飛び出そうとし たところを家族がとめている。		
158	B07013382	12 年 男性	異常行動	2007/3/18 2007/3/18	2007/3/18 23:50	×	Yes	50分	-	Yes	-	No	-	-	-	-	No	2007/3/17 39℃の発熱あり。 2007/3/18 (13:00)本剤75mg内服。(19:00)本剤75mg内服。(23:00)40.2℃の発 熱、脱水に対して、カロナール2錠内服。ボタコールR 500mL点滴静注開始。そ の後嘔吐。(23:50)点滴終了し、抜針した所、走り出した(非重篤)。 2007/3/19 異常行動は回復。		
159	B07013388	12 年 男性	異常行動	2007/2/24	夕	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/2/23 (朝)38℃ 2007/2/24 (朝)39℃の発熱。(来院時)39.4℃、鼻汁あり。インフルエンザBの判 定のもと、夕方本剤75mg内服。 2007/2/25 (未明)もうろうろ状態発現(非重篤)。急に起きて、ベッドの上で飛びは ねて2階から下に階段を駆け降りて、下で尿、便を失禁した。 不明 症状回復。		
160	B0300882	13 年 男性	①異常行動 ②幻覚 ③幻覚	2003/1/21~ 1/22	朝・夕 2003/1/22 18:00 20:00~21:00	-	-	-	Yes	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	No	2003/1/20 夜、体温37.4℃、関節痛、頭痛、咽頭痛、咳あり。 2003/1/21 朝、前日の症状が悪化。当院受診。インフルエンザB型の診断。同 日朝タミフル服用。 2003/1/22 朝、38.8℃。本剤服用。二次感染による咳(+++)・痰のためクラリス、 メジコン、ムコダイン、リン酸コデイン、酸マグネシウム処方。薬、服薬し休ん だ。(18:00)突然バタバタ2階から降りてきて、持っていた洋服を「これおかし い」と言い、自分の本腿をたたき、ウザキ跳びをした。家族がなだめ再び就寝。 (20:00~21:00)ベッド内で「死んじやうよー」と泣いたり、ベッドから飛び降り、 「逆立ちしようやる」とか「高校受験はこうする」等の言動あり(受験生ではない い)。 2003/1/23 朝、すべての薬剤を中止。体温37.8~38.1℃ 2003/1/24 体温36.6~37.3℃。市販の咳止めトローチ使用。 2003/1/27 母親が来院。咳(+++)あり、クラリスのみ継続するよう指示。	異-1-12	

異常な行動

識別番号	年齢 性別	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、就寝 中じやない:×)	発熱 発汗 発赤 発疹	就寝中の場合 就寝時刻から発 現までの時間	意識 消失 時間	嘔吐 頻度 回数	腹痛 部位	頭痛 部位	呼吸器 異常	循環器 異常	消化器 異常	泌尿器 異常	他臓器 異常	異常な行動の 詳細 内容	旧資料No				
161	B03001038	13	年	女性	幻覚	2003/1/23 1/24~1/27	夕 朝-夕	2003/1/24	-	○	No	-	20~30分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	Yes:ポルタ レン	無	2003/1/23 朝咳あり。(11:00)家族。体温39℃。インフルエンザA型と診断。タミフル75mg×2回/日処方され、夕方から内服開始。 2003/1/24 (昼)熱は39℃から下降していた。眠っていて急に起き出し、ベランダに向かって走り出し、締り止められた。その時「死ぬんや」と何度も言っていた。(夜)再度眠って、急に起き出し、玄関に向かって走り出し母親に止められた。 2003/1/25 前日と同様の状態で発熱を繰り返していた。母親は熱にうなされたと理解していた。 2003/1/26 朝より下熱(38℃)となり前日の様子はなかった。 2003/1/27 来院時間無し。朝の服用にて本剤服用中止。 2003/2/25 他の疾患にて再来院。この時もまったく問題なし。 インフルエンザ治療後数ヶ月たち、発熱のため、ポルタレン坐剤12.5mg使用。本剤内服後感じた「死にたい」という感情がわずかに出現した(坐剤使用6-7時間後)。	異-1-13	
162	B03008902	13	年	男性	譫妄	2004/1/21 2004/1/22 2004/1/23 2004/1/24 2004/1/25 2004/1/26	18:00 朝-晩 朝-晩 朝-晩 朝-晩 朝-晩	2004/1/21	21:30	-	-	-	30分	Yes	解熱過程	No	-	-	-	No	無	2004/1/21 (18:00)受診。BT38.1℃。咽頭痛、咳あり。血圧 104/68。インフルエンザと診断。(18:00)帰宅後、本剤服用。発熱続いていた。(21:30)異常行動出現。家の中を走り回る。階段を駆け上ったり、かけ下りたり。意味不明の奇声、トイレの中でクルクルこまのように回る。かみつき。救急車要請。救急病院へ。この間30~40分ほどか。(22:10ごろ)救急車で救急病院へ。受診時には平静にもどっていた。体温も平熱にもどっていたこと。意識は正常。せん妄状態時の行動については記憶なし。様子観察のため点滴(内容不明)、1時間ほど在院して帰宅。 2004/1/22 (朝)平熱。咽頭痛、咳少々。本剤そのまま続行。その他の薬もそのまま続行。 2004/1/24 (11:00)診察。38.4℃。咽頭痛(-)、咳(-)。異常所見なし。診察時、上記エピソード聴取。熱性せん妄と判断。タミフル中止の指示はせず。追加投薬もせず。	異-1-8	
163	B05001832	13	年	男性	精神障害	2005/3/16	16:00, 23:00	2005/3/17	2:30	-	No	-	Yes	Yes	解熱過程	Yes	No	No	No	No	無	(2:30)自宅の2階から飛び降りた。外に響かずに済み、両下腿が怪しかった。自分で出てきて自宅のチャイムを押し中に入った。母に「ねぼせてないよ、ねぼけてないよ」とくり返し、自分の部屋に戻り入眠した。本人は飛び降りたのは覚えていないが、その理由がわからないとのこと。	異-1-29	
164	B06022863	13	年	男性	①幻覚 ②異常行動	2007/1/21	朝-夕	2007/1/22	2:00	○	Yes	-	1時間	Yes	解熱過程	Yes	No	No	No	No	無	2007/1/21 (8:00頃)発熱、頭痛、咽頭痛、腹痛を訴え、在宅受診。インフルエンザB型と診断。(10:00)38.8℃ 当日午前中帰宅後夕食後に、タミフル75mg内服。 2007/1/22 (2:00頃)幻覚、異常行動発現。夜間睡眠中に、自分の身に家人より危害を加えられようとする。家を出し知り合いの家へ逃げた。またまた走りかかった人に襲われて警察署に連れて行ってもらった。(3:00)約1時間後回復。警察で事情を聞かれている間に正気に回復した。幻覚、異常行動回復。 (10:00)38.8℃ 2007/1/28 B型インフルエンザ軽快。	異-1-81	
165	B06025315	13	年	男性	異常行動	2007/2/28	18:30	2007/2/28	23:05	○	Yes	5時間	5分位	Yes	発熱持続	No	-	-	No	No	無	2007/2/28 発熱を伴う重篤な状態で当院受診。インフルエンザB型と診断され、タミフル、カロナール処方される。(18:30)帰宅後、タミフル100mg(75mg)服用。就寝(時間不明)。起床(時間不明)。(23:05)異常行動発現(非重篤)。覚醒し、トイレへ行くとする。しかし、意味不明な発音をし、母がベランダに向かって歩き出したため家族がとりおさえ、すぐに意識不明となる。(23:20)再度当院受診。体温:38.3℃。急の為採血するも異常なし。診察にて明らかな異常なし。異常行動軽快。48時間は目を離さないよう伝え帰宅する。 2007/3/1 (0:00)帰宅する。朝には熱さが残っている。 2007/3/2 その後本剤服用せず。異常行動はなし。 2007/3/5 体温:36.0℃。インフルエンザの転帰:軽快・回復。	異-1-112	
166	B08028420	13	年	男性	異常行動	2007/3/12	17:30	2007/3/12	20:00くらい	1回目×、2回目○	Yes	-	-	Yes	-	No	No	-	-	No	不明	1回目:大きな石がのっていると言ふ。2回目:薪のわがわがないと言ふ。起きて「輪路」と数回叫び、後退し、手を取るがテーブルの上に乗る。その後、走り回り、母親が、押さえ込む。体温を測ろうとするが、体が硬直し、脇が占められない状態であった。また室内犬を蹴った為、犬をゲージに入れるが、朝起きて犬が、ゲージの中に居るのか判らない状態であった。	異-2-4	
167	B07000083	13	年	男性	異常行動	2005/12	追加なし	2005/12/9	追加なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	不明 ワクチン接種。 2005/12 他院にてインフルエンザ治療のため本剤75mg×2/日投与開始。 2005/12/9 2階の窓から飛び下りようとしたが、家族が止めたため、事故にはならなかった。異常行動があったため、当院にて診察。 不明 治療後も目が覚めると歩きまわる様になった。 2006/1/4 胸部打撲傷の軽度あり。	異-2-15		
168	B07000086	13	年	男性	精神症状	2007/2/23	夕方	2007/2/23	夕食後	○	Yes	-	10分	Yes	発熱持続	-	-	-	No	No	譫妄	自室で寝ていたところ、急に起き上がり意味不明な発語。 窓から外へようとした。発熱で譫妄状態になったことは以前にあり。	異-2-17	
169	B07000077	13	年	男性	異常行動	2007/3/13	10:00 22:30	2007/3/14	2:00	○	Yes	-	Yes	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	不明	*突然起きて外出する。 *受け答えははっきりせず、自分の行動を理解していなかった。2:00 異常行動発現。突然起きて外出。すぐに父親が気づき連れ戻す。その後就寝。異常行動の発現時刻は不明。	異-2-18	
170	B07000130	13	年	男性	①異常行動 ②幻覚	2007/3/15 2007/3/15 2007/3/16 2007/3/16 2007/3/17 2007/3/17 2007/3/18	午前 午後 午前 午後 午前 午後 午前	①2007/3/15 ②2007/3/15	-	○	No	-	-	その時のみ	Yes	発熱持続	-	No	No	-	No	無	2007/03/15 (朝)体温:38.3℃。インフルエンザB型治療のため、タミフル75mg×2/日の投与開始。(14:00)異常行動発現。昼食後に起床して、覚醒後「暑い」と言いベランダに飛び出し、涼みたくいベランダに向かって飛びだしそらになったので、母親があわてて止めた。(14:10)異常行動回復。(夕)体温:38.7℃。(20:00)幻覚の疑い発現(非重篤)。臥床中、「ゲームの中のように誰かが追いかけてくるので逃げなくて」と言っふとんをかかかった。母親が「大丈夫」と言い安心させたところ安眠した。(20:10)幻覚の疑い回復。以降、3/18朝食後まで本剤を続けて服用したが、特に異常行動は見られなかった。 2007/03/19 インフルエンザの転帰:軽快。	異-2-30

異常な行動

識別番号	年齢	年齢	性別	PT名称	タミフル	異常な行動発現時刻	就寝中か否か	発現	就寝中の場合、	発現	発熱	発熱	発熱	発熱	発熱	発熱	発熱	異常な行動の具体的な詳細	旧資料No
患者	数値	単位			服用時刻		(就寝中○、就寝中じゃない×)	時間	就寝時間から発	時刻	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無	(例: 幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、薬が幻覚を起していたように感じたのか?)	
171	B07000272	13	年	男性	異常行動	2007/2/28	2:30	2007/2/28 2007/2/28	5:00 7:00	○	Yes	2時間半	数分	No	発熱持続	No	Yes	2005/5/10~12 高齢時に解熱剤(ロキソニール)使用後、異常行動あり(バタバタと暴れて騒乱とおびえがあった)。 2007/2/25 朝より顔発赤あり。(PM8:30)当院受診。受診者数多数のため、深夜まで院内で待ち。 2007/2/26 (0:00)インフルエンザB型と診断。(AM1:40)タミフル60mg×2回/日処方開始。タミフル投与後、タミフル60mg内服し、就寝。(5:00)急に体を起こし、二階の廊から飛び降りようとしたため、家人がとりおさえ、ことなきを得た。すぐにおさまり、一階へ移動して就寝した。(7:00)再び急に起き上がり、今度は一階の廊から飛び出してしまった。その後、外で家人が水まきをしており、その場で泣きかき、ことなきを得た。(8:28)その後、当院へ電話で問い合わせがあり、内服中止を指示。以後、異常行動は出現せず軽快した。 併用薬のレスプレンド、ムコダイン、ペリアクチンは発現時未服用。 2007/3/3 インフルエンザ:軽快・回復	異-2-48
172	B07000412	13	年	男性	落ち着きのなさ	2006/7/8 2006/7/7 2007/1/1	夕 朝-夕 朝-夕	2006/7/8	朝	-	-	-	-	-	-	-	-	2006/7/6 B型インフルエンザ治療のため、タミフル投与開始(60mg×2/日~06/7/7)。 2006/7/8 (朝)寝ぼけて不穏状態となり、2階の部屋から道路に落ちて頭、両膝打撲。不穏状態発現。顔部ににて後頭部骨折、硬膜下に出血あり他院紹介入院~08/7/20)。右膝骨折キブスシーメ固定。 2006/7/20 当院入院(~08/8/12)。 不明。不穏状態回復。	異-2-58
173	B07001355	13	年	男性	①幻覚 ②異常行動 ③論議	2007/2/20 2007/2/20	12:30 20:00	2007/2/21	4:30~5:00	Yes	-	5hr	30分	Yes	発熱持続	No	No	2月20日(24:00)直前で就寝 2月21日(4:30~5:00)何かに追いつかれるような、怖い夢をみていたような恐ろしい思いをした後に、急に自分の両足が何かに触れるのを感じ、その瞬間自分が窓枠にぶら下がり、両足を10cm幅のコンクリート層の狭き出し部分に乗せているのに気が付いた。両足を窓枠につけ、必死によじ登って部屋に入り、両親の寝室に飛び込んだ。(5:00)父母が寝室中にバタバタという音とともに悪鬼が部屋に入ってきた。「死ぬぞやう!こわかった。」とおびえた表情。両親が事情を聞くも飲み込まず、「夢でも見たのだろうと両親の寝室で休ませた。その時母親は悪魔の語「興奮、夢遊病」のことかと驚愕。(7:30)寝が明けて悪鬼を見たと、両親に語り、両足跡の付着物、両足跡の汚れに気づき、悪鬼に事情を聞く。母親が悪鬼の部屋を見に行くと言っていており、外壁を見ると10cm出っ張ったコンクリート部分に足跡が残っていた。	異-3-2
174	B07001658	13	年	男性	①幻覚 ②異常行動	2007/3/17 2007/3/17	昼 18:00	2007/3/18	4:00	-	-	-	数分	Yes	発熱持続	No	No	3月18日(4:00)就寝していった悪魔が急に起き上がり、部屋を駆け回る。たんずきを開ける。友達がいると誤り、友達の名を大声で叫ぶなどの行動をとる。悪魔が気づきおさまる。数分で落ち着いて、熱は39.8℃と高熱。家族が救急車を呼ぼうとするが寝かしているで様子を見た。	異-3-7
175	B07002055	13	年	男性	異常行動	2007/3/2	不明	2007/3/2	服用から53~4時間後	-	No	-	9時間	Yes	発熱持続	No	No	3月2日本剤75mg内服して3~4時間後に「友達がベランダから落ちた」と発言。事件がおかしくなった。誰いかに聞かされず、そのまま寝た。(18:30)両手洗の場所からうと音が聞こえたので、自分で行ったら、自分の頭を殴っていた。その後「人を殺した」と発言。病院に電話したところ、本剤は中止しよう言われた。暫くして意識清明となり、おかしな行動、テレビを見たり、水分を取っていた。 3月3日(8:30)気分が悪いと言いつづ、うそと断りして、リビングを駆けずり回り、「死にたい」と叫び、救急車要請。救急搬送時、ぼーっとしている感じではあったが、名前を言えた。こちらの要請に応じていた。 当院救急外来受診後、ラクテック1000ml輸液。その間異常行動なし。意識清明。家族の強い希望あり、入院して経過観察することとなった。	異-3-10
176	B07002897	13	年	女性	①大動作痙攣 ②異常行動	2007/3/17 2007/3/18 2007/3/18	10時頃 夜 朝-夕	2007/3/17	21:30	×	No	-	5分	Yes	解熱迅速	No	No	A型インフルエンザにて本剤(0.5)の服用歴あり(副作用なし)。 2007/03/17(10:00)来院。B型インフルエンザの診断。帰宅後、本剤75mg内服。この時体温40℃。(昼)何事もなく、ずっと寝ていた。(21:30)夕食を食べると自産より出た。この時体温39.5℃。自覚がよくなり階段を下り始めたところ、「こわい、こわい」と叫び出し、壁を両手で「トン」と叩いていた。その後、意識がなくなり倒れ、両手を曲げ環状した状態となった後、けいれん発作1分間起こし自然に止まった。5分後には命懸けに反応しようになったが、「うん、うん」と言う程度。その後は再び自覚で寝ていた。「体のどっちかどっちが下がかわからないとも言っていた。本剤、夜は睡眠中であつたため、服用せず。 2007/03/18(朝)いつもと同じ様に起床。「こわかった」とだけ言っていた。熱無く、元気になっていた。強度間代性けいれん、異常行動回復。朝、本剤の服用は止め、夜のみ服用。 2007/03/18 朝、夕本剤服用。	異-3-18
177	B07004039	13	年	男性	論議	2007/3/19	午前	2007/3/20	10:00	○	Yes	1時間	-	発熱持続	No	No	2007/03/18 B型インフルエンザ発症。 2007/03/19 本剤75mg×2回/日投与開始。(PM)体温:39.4℃。(体温測定値に關して、時間不明) 2007/03/20 (10:00)2階で寝ていたが、急に起きてきて階段(廊下)の途中から飛び降り、部屋の障子を割って外へ出て行った。1階にいた母親が取り寄せた。(10:30)しばらくすると強いられた。39℃台の体温があった。患者による悪い夢を見て、何かに追いつけられたような気がしたそうであるが、階段を飛び降りたり障子を割ったりしたこと等は何も覚えていなかった。	異-3-25	
178	B07013251	13	年	男性	異常行動	2006/2/1 2006/2/1	-	2006/2/1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2006/2/1 インフルエンザに対して、本剤の投与を開始。2回自服用の4時間半後に痙攣で外に飛び出す。本剤の投与を中止。 2006/2/2 異常行動は回復。	
178	B07013256	13	年	男性	幻覚	2006/1/28	-	2006/1/28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2006/1/28 (夕)A型インフルエンザ(体温:39℃)に対して、本剤の投与を開始。本剤服用後に、幻覚(異常行動)が発現。(投与は1回のみ) 2006/1/30 幻覚(異常行動)は回復。	
180	B05002487	14	年	男性	意識レベルの低下	2005/2/5	18:00	2005/2/5	18:00	-	-	-	-	-	-	-	-	本剤1回内服後に幻覚(異常行動)「家がイヤだ」と言って家を飛び出した)が現れたが次第にみならず。(1日:熱39℃、2日:熱39.7℃) 2005/2/5 (11:30)発熱、頭痛、腹痛で受診。腹腔内カンパルでインフルエンザ迅速診断でインフルエンザA型と診断。意識障害、精神症状は無かった。(18:00)タミフル1カプセル服用。(18:00)9時自宅より転落。(23:05)他院にて出血性ショックにより死亡。	異-1-30

異常な行動

識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中が否か (就寝中心、就寝 中じやない×)	発熱 有無	就寝中の場合、 就寝時刻から発 現までの時間	発熱 持続	解熱 時間	解熱 剤投与	解熱 剤効果	発熱 持続	発熱 持続	発熱 持続	発熱 持続	発熱 持続	発熱 持続	発熱 持続	発熱 持続	発熱 持続	発熱 持続	発熱 持続	発熱 持続	発熱 持続	発熱 持続	発熱 持続	発熱 持続	発熱 持続	発熱 持続	発熱 持続	発熱 持続	発熱 持続	異常な行動の具体的な詳細 (例: 幻覚については具体的に何が見えたか? 本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたか? と書いているのか?)		旧資料No			
																																			①	②				
181	B05017753	14	年	女性	譫妄	2005/2/28 2005/3/1 2005/3/1	夕 朝 夕	—	—	—	No	—	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	①朝より「外から誰か見える」家の中に知らない人がいる「夕食で夕ご飯を出すと「毒が入っている」などの幻覚や被害妄想出現。寒いのに家中の窓を全て全開にしてしまうなどの異常行動あり、落ち着きがなく家中うろろするため母親が病院に連れていった。小児精神科などのいろいろな科を回され精神安定剤の注射をされ、せん妄と診断された。 ②少し落ち着いたが「死にたい」お母さん私のこと殺すんでしようなどの自殺念慮発露あり。	異-1-31			
182	B05022381	14	年	男性	①睡眠状態 ②落ち着きのなさ	2004/1/26 2004/1/26	解 不明	—	—	—	—	—	—	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	No	No	No	No	Yes	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1カプセル服用後「2匹の虫に噛みつけられる」として腹に向かって走り出した(マンションの隣)。暴走、不穏発現、ガラスは破りがかけてあり、事故にはならなかったが、両親二人がかりで押さえないといけない程の力で暴れた様子。	異-1-43		
183	B05024748	14	年	男性	異常行動	2008/2/18	夕方	○	—	3時間	約1.5時間	No	発熱持続	Yes	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2008/2/17 インフルエンザ発症。 2008/2/18 インフルエンザA型と診断。タミフル75mg/日投与。(21:00)自宅に休んでた。(0:00)2階より飛び降り、両足骨折。異常行動、両足骨折発露。 2008/2/19 (1:40)自宅近くのコンビニエンスストアにバジャマで裸足のままでいるところを警察に保護される。(2:30)当院救急外来へ搬送。右踵骨折、左第5指中足骨骨折、両足指外傷性皮膚欠損あり。自宅窓は開いておりこの下のコンクリート部からコンビニエンスストアにかけて血痕が認められていた。ブリーチで検体開始。なお当院搬送時は意識状態は問題なし。異常行動回復。(4:00)腫液検査実施。腫液CT実施。結果：骨折不し。頭蓋内に急性期外傷性変化なし。明らかな浮腫や脳症を疑う所見を認めない。 2008/2/21 脳波検査実施。異常所見なし。 2008/2/22 頭部MRI実施。結果：明らかな異常所見は認められない。脳実質に信号の異常なし。拡散強調画像で有意な高信号なし。Impression：異常を認めず。 2008/2/23 インフルエンザ軽快。退院。	異-1-60	
184	B05024963	14	年	男性	①悪心 ②異常行動 ③意識レベルの低下	2008/2/13 2008/2/14	夕 朝	×	—	—	—	—	—	—	発熱持続	—	No	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2008/2/13 インフルエンザA型のため、タミフル75mg×2/日投与開始。 本剤内服後、少し悪心があったがすぐに治まったので家で様子を見ていた。意識障害(軽度)発露。吐気もあった(重量不明)。 2008/2/14 朝本剤内服後、4時間ほどして服を脱いで突然家の外へ飛び出したところ、家族が気づいて連れ戻すエピソードがあった。その後もいつものことができるのではない、わからないといことが少し続いた。行動障害(重度?)発露。(11:30)家族より今は落ち着いているようだという連絡があり、総合病院を受診するように指示した。 2008/2/15 (夜)家に電話して様子を見ながら、総合病院を受診して血液検査と脳MRIを撮影したが、今は落ち着いている。入院はせず。 2008/2/16 家に電話して様子を見ながら、総合病院の検査ははずれも異常なしとのこと。現在に特に異常なし。コカール200mgを合計4錠内服していたことが判明。インフルエンザ軽快・回復。	異-1-65	
185	B05025213	14	年	女性	異常行動	2008/1/21	10:30 20:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2008/1/21 インフルエンザA型と診断。タミフル75mg×2回/日投与開始(他院にて処方)。(10:30)タミフル75mg内服。(12:00)トイレでいきんだ後、白目を向いた感じになった(約5秒くらい)。その後緊急受診。発熱時、異常なため一旦帰宅。(20:00)本剤75mg内服。(22:30)突然起き上がり「恐ちゃんごめんさいり」など意味不明な発言がみられ、緊急受診。受診時に受け答えは正常にできたが、点滴後もフラフラするというため、経過観察のため翌日入院することとした。 2008/1/22 解熱し、インフルエンザ軽快。その後、精神状態等も正常であった。 2008/1/24 後日外来で脳波検査予定として、退院。	異-1-67		
186	B05025476	14	年	男性	①異常行動 ②意識レベルの低下 ③産後	不明	不明	—	—	—	15分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	No	不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不明 インフルエンザウイルスは検出できなかったが、家族に隠性の患者がいたためタミフル投与開始。(75mg×2/日 2日間) 不明 異常行動、意識障害、産後発露。腫液検査にて細胞数上昇。	異-1-68	
187	B05025583	14	年	男性	異常行動	2008/2/20 2008/2/21 2008/2/22 2008/2/23 2008/2/24 2008/2/25	夕 朝夕 朝夕 朝夕 朝夕 朝夕	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2008/2/18 発熱あり。 2008/2/20 (午前中)インフルエンザA型と診断。タミフル75mg×2回/日処方し、ただちに1cap服用。 (11:00)2階に寝ていたが、突然階段をどたどた駆け降り、学校へ行かなくちやと言ってかばんを背負って外へ飛び出そうとした。T度家人が周り、当人を取り押さえ、今日は学校に行かなくても良いと言って落ち着かせた。異常行動発露。異常行動の持続時間：不明。 (12:00)症状軽快。その後も本剤は処方どおり服用。特に変わったことはなかった。後で本人に確認したところ記憶が全くないとのことだった。家族は発熱によるものと考え特に処置はしなかった。 2008/2/25 インフルエンザ軽快し、本剤は朝内服後終了。	異-1-71	
188	B05025723	14	年	男性	①異常行動 ②発熱 ③錯乱状態 ④躁狂	2008/2/5	夜間	—	—	—	—	No	—	—	Yes	発熱持続	No	Yes	—	No	No	No	No	—	睡眠覚醒	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	小児時 本剤服用にて異常行動(重度不明)発露。異常行動回復。 2008/1/17 38.1℃の発熱にて当院受診。インフルエンザ抗原検査ではA/Bともに陰性であったが、症状的にインフルエンザが強く疑われたため、シメトレル2T/日投与。その際は高熱にも関わらず、興奮状態などの訴えはなかった。 2008/2/5 日中発熱にて休日当番医受診。A型インフルエンザと診断され、本剤75mg2cap/日、5日間処方。夜間本剤服用後、興奮状態になり家の中を大声を出して動き回った。家族が抱きかかえるように抑えつけたいけない状況だった。2時間程にこのような興奮状態が出現した。興奮、錯乱状態、健忘症発露。 2008/2/6 正確な時間はわからないが、寝込んで伏性的に落ち着いた。本人は全く覚えていないの事、興奮、錯乱状態、健忘症回復。当院受診。母親の話を聞き、本人は全く覚えておらず、37.4℃まで熱は下がっていたので、本剤服用を中止し様子を見るように指示。その後の連絡は無し。	異-1-78

異常な行動

識別番号	年齢 歳	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、就寝 中じゃない:×)	意識 障害	就寝中の場合 就寝時から発 症までの時間											異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的な何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていたか?と答えているのか?)	旧資料No
189	B06024434	14	年	女性	転倒	2007/2/16	星	2007/2/16	12:40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/2/15 朝から寒気あり、夜より発熱。 2007/2/16 (9:43)当院受付にいた。受診。体温38.2℃、咳が少し、鼻水が少し、 喉の痛みを訴えていた。診察時、異常な言動はみられず、精神・神経系の異常 はなかった。(10:00頃)インフルエンザB型と診断、タミフル、ユニプロン坐薬、PL 顆粒、マーズレンSを処方され、タミフルを内服した(1回内服)。(12:40)自宅マ ンションより転落のため、他院に救急要請あり。(12:58)救急隊到着し心肺停止 の状態。(13:03)胸触診、心臓聴生(得血を行った)、反応不応。、(13:34)死亡確認。 警察による検察あり、副検は同意を待たず。 <新聞記事の情報> 2007/2/18 午前中に病院で受診後、母親と一緒に帰宅。本剤を服用して静養して いた。(12:45)自宅マンション敷地内で血を流して倒れているのを発見された。自 宅前の道路の手すり(高さ1.4m)から1階駐輪場の屋根に転落後、地面に落ちた。 母親は出かけたため、転落当時は一人だった。患者は黒色の上下のスウェー ット姿で、靴は履いていなかった。患者は全身を強く打ち病院に搬送されたが約1 時間後に外傷性ショックで死亡。	異-1-122
190	B06024795	14	年	男性	①異常行動 ②転倒	2007/2/26	18:30	2007/2/27	1:20	○	-	覚醒後すぐに発 症	No	No	-	Yes	-	-	No	2007/2/26 朝、受診。38.8℃。「目が痛い」と訴えており、のどが真っ赤であ った。タミフルでインフルエンザが流行していると言っていたので、インフルエンザB 型と診断。家庭状態についてはわからない。既往歴、合併症は未確認。初診で はなしたため、問診表なし。タミフル75mg×2回/日(6日分)、カロナール200mg(2錠 3日分)処方。 2007/2/27 (1:47)救急車にて病院に搬送。受診時心肺停止状態。JOS300。顔 面は顔面骨折、上唇、下唇など顔面を歪めず、マスク換気とともに互出血が 噴出する状態。四肢も多発性の開放骨折。心肺聴生を試みるが、全く反応な し。 (2:01)死亡確認。 <新聞記事からの情報> 2007/2/26 (9:30頃)タミフル75mg内服。(18:30頃)タミフル75mg内服。 2007/2/27 自宅マンション11階より飛び降り、転落して死亡した。夜中に目を覚 まして母親を起こし、居間で薬を飲もうとしたが、前の服薬から所定の8時間が たつておらず、服用を見合わせた。(12:00頃)その直後、「トイレに行く」と言って居 間を離れ表に出た。玄関の扉を外す音に母が気付いた後を追う。患者は玄関 前の外壁に無言で足をかけて乗り越え、転落したという。娘などを強く打ち、市 内の病院に運ばれたが、間もなく死亡した。	異-1-97
191	B06025008	14	年	男性	異常行動	2007/2/17	17:00	2007/2/17	20:30	-	-	15分	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	1階にいた母が2階が暖かいことに気付き裏に行き、裏庭がクロゼット 内に走り込んでいた。その後走り回り、階段の手すりを乗り越えて、壁を かきおろすような動作があった。これらの行動が母が行ってから10分程度続い た。救急要請。救急到着時は意識不明。 (2007/2/25 23:00)トイレに行くこととベッドから立ち上がらたら倒れた。 トイレを走って行くもトイレの中、壁に向かって歩み、ふらふら歩き 出し、台所の床に倒れる。 (2007/2/26 18:00)異常行動回復。 突然転倒。家族はトイレに行くのかと思っていたら、トイレを走り過ぎ玄関ドアの 前で意識消失し転倒。その直後音で家族に発見される。意識消失は2~3分間。 その間血尿は認めない。 後遺症打撲。 2007/2/23 (3:00)38.5℃。(10:00)37.5℃。インフルエンザA型と診断。(19:00)夕 食後、タミフル75mg服用。(21:00)発熱がつかない「お外へ出る」と外へ出ようとし た。家人が気付く、手をつかむことにより外出は阻止できた。異常行動発現。 (24:00)3時間程度発熱がなかったが、ようやく就寝できた。 2007/2/24 (7:00)正常に戻る。異常行動回復。37.0℃。インフルエンザ軽快・回 復	異-1-102
192	B06025885	14	年	男性	異常行動	2007/2/25	19:00	2007/2/25	23:00	○	Yes	約4時間後	1時間	Yes	発熱持続	No	-	-	-	2007/2/25 23:00)トイレに行くこととベッドから立ち上がらたら倒れた。 トイレを走って行くもトイレの中、壁に向かって歩み、ふらふら歩き 出し、台所の床に倒れる。 (2007/2/26 18:00)異常行動回復。	異-1-121
193	B06026126	14	年	男性	①意識消失 ②異常行動	2007/02/23	夕方	2007/02/25	AM3:00頃	○	Yes	-	5-8分	Yes	発熱持続	No	No	No	-	突然転倒。家族はトイレに行くのかと思っていたら、トイレを走り過ぎ玄関ドアの 前で意識消失し転倒。その直後音で家族に発見される。意識消失は2~3分間。 その間血尿は認めない。 後遺症打撲。 2007/2/23 (3:00)38.5℃。(10:00)37.5℃。インフルエンザA型と診断。(19:00)夕 食後、タミフル75mg服用。(21:00)発熱がつかない「お外へ出る」と外へ出ようとし た。家人が気付く、手をつかむことにより外出は阻止できた。異常行動発現。 (24:00)3時間程度発熱がなかったが、ようやく就寝できた。 2007/2/24 (7:00)正常に戻る。異常行動回復。37.0℃。インフルエンザ軽快・回 復	異-2-1
194	B06026444	14	年	男性	異常行動	2007/2/23	19:00	2007/2/23	21:00	×	No	-	3時間	Yes	発熱持続	No	-	-	-	2007/2/23 (3:00)38.5℃。(10:00)37.5℃。インフルエンザA型と診断。(19:00)夕 食後、タミフル75mg服用。(21:00)発熱がつかない「お外へ出る」と外へ出ようとし た。家人が気付く、手をつかむことにより外出は阻止できた。異常行動発現。 (24:00)3時間程度発熱がなかったが、ようやく就寝できた。 2007/2/24 (7:00)正常に戻る。異常行動回復。37.0℃。インフルエンザ軽快・回 復	異-2-5
195	B07000153	14	年	男性	①意識消失 ②異常行動	2007/3/7 2007/3/7	不明 18:30	2007/3/8	8:35	-	-	-	少なくとも2 ~3分以上	Yes	発熱持続	No	No	No	No	2007/3/7(10:00)学校22時頃自願より発熱。早速近隣受診。インフルエンザ B型と診断。タミフル1回目75mgをすべり内服。(18:30)タミフル2回目75mgの服用。 2007/3/8 就寝した時間起きた時間は不明だが、6:35分には起きていた。(8:35) 異常行動。意識障害発現。子ども部屋のからうめき声が母親が聞く。部屋に行っ てみると当該患者がベットで座位をとり、窓から身を乗り出してうめき声を出して いた。しばらくして落ち着いたが、その後一人でトイレに行き、排泄をしている間 に意識消失。2~3分程度意識障害。救急車により当院に搬送される。(7:40)当院到 着。到着時には、意識は回復していた。本人にそのときのことを確認すると、き しい気がしたのでうめき声を出した。窓から身を乗り出していたことは記憶 がないとのコメント。異常行動。意識障害回復。急のため静脈ラインを確保し入 院。 2007/3/8 朝より解熱。入院後、異常行動なし。頭部CT検査を行い異常なし。 退院した。	異-2-32
196	B07000158	14	年	女性	異常行動	2007/3/18	夕方	2007/3/19 2007/3/19	夜中 午前	-	Yes	-	10分	Yes	発熱持続	No	No	No	-	2007/3/18 患者は部活の遠征先で、インフルエンザを発症。(夕方)他院処方 により、本剤5mg投与。 2007/3/19 (夜中・午前中)異常行動(夜中急に走り出して倒れた)発現。(発現 10分後)異常行動回復。当院受診。 2008/2/3 (朝)A型インフルエンザ治療のため、タミフル投与開始(75mg×2/ 日)。(21:00)夕方の本剤75mg内服後、朝後、(23:00頃)突然起き上がり、声を出 しながら(内容は不明)2階の廊下へ飛び降りた。この際母親が(部屋)にいな い。父親の行動のため制止することができなかったとのこと。直後に母親が直で 母親が扉を打壊して、落ちていた状態を確認。ポイントとしている状態であった が、目撃は不十分であったとのこと。そのまま就寝させ、翌日には意識は 全く清明であった。 2008/2/7 タミフル投与終了。 2008/2/8 インフルエンザ軽快・回復。 2008/2/13 腹痛は特に起らない。約10日後に軽快した。 2007/3/24 異常行動回復。(医師の転帰確認日)	異-2-33
197	B07000162	14	年	女性	異常行動	2007/2/3 2007/2/3 2007/2/4 2007/2/4 2007/2/5 2007/2/5 2007/2/6 2007/2/6 2007/2/7 2007/2/7	朝 21:00	2007/2/3	23:00	○	Yes	2時間	10分	Yes	発熱持続	No	No	No	No	2008/2/3 (朝)A型インフルエンザ治療のため、タミフル投与開始(75mg×2/ 日)。(21:00)夕方の本剤75mg内服後、朝後、(23:00頃)突然起き上がり、声を出 しながら(内容は不明)2階の廊下へ飛び降りた。この際母親が(部屋)にいな い。父親の行動のため制止することができなかったとのこと。直後に母親が直で 母親が扉を打壊して、落ちていた状態を確認。ポイントとしている状態であった が、目撃は不十分であったとのこと。そのまま就寝させ、翌日には意識は 全く清明であった。 2008/2/7 タミフル投与終了。 2008/2/8 インフルエンザ軽快・回復。 2008/2/13 腹痛は特に起らない。約10日後に軽快した。 2007/3/24 異常行動回復。(医師の転帰確認日)	異-2-34
198	B07000206	14	年	男性	異常行動	2007/3/6	10:30	2007/3/6	14:00	○	Yes	-	2~3分	Yes	発熱持続	Yes	No	-	Yes	2007/3/6 朝より解熱。入院後、異常行動なし。頭部CT検査を行い異常なし。 退院した。 (10:30)本剤75mg投与。(14:00頃)寝ていたところ突然起き上がり、顔面を手を ゆさぶり歩き回るが、呼びかけには答えず。2~3分後落ち着いた。投与薬剤全 て中止。入院してST3検査で経過観察した。(翌日)未明に突然起き上がり、上 肢を1分程度ゆさぶらせることがあったが、その後はみられなくなった。	異-2-36

